

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩都市モノレール延伸促進事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	—		
目的	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期実現に向けて、市内の機運醸成や促進活動の活性化を目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	モノレール早期延伸をPRする物品の作製及び販売や市民組織と連携した促進活動を実施する。また、東京都等の関係機関への要望活動を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	情報誌モノレールの発行回数	回
			実績	7	7	
			達成率	117%	117%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		1,515	438	760		令和2年第1回定例会において、早期延伸を実現するため、市民と一体になった一層の促進活動が必要であるとの意見があった。
財源内訳	一般財源	261	438	760		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	1,254	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,712	2,599	2,616		
	所要人員(人)	0.34	0.34	0.34		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		4,227	3,037	3,376		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度は、情報誌モノレールを発行(7回)したほか、PR用カレンダー及びエコバッグを作製し、市役所1階市政情報コーナー等で販売を行った。 また、デエダラまつりにブースを出展し、モノレール早期延伸に関するPR活動を行った。	令和4年12月東京都議会において、都知事からモノレール開業時期に関して「2030年代半ばの開業を目指す」との発言があったところであり、延伸に向けてモノレールの利用需要の創出につながるまちづくりのより一層の推進が必要となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
東京都等の関係機関と連携を取りながら、引き続き、モノレール早期延伸の機運醸成のための取組を行っていくとともに、モノレール延伸を見据えたまちづくりを検討していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○			低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市モノレールを呼ぼう！市民の会交付金交付要綱		
	目的	市民等が主体となって行うモノレール促進活動の充実を図り、もって多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市民の会が行うモノレール促進活動に必要な経費のうち、補助対象経費（謝礼金、打合せ経費、消耗品費、備品費、印刷経費、役員費、委託料、レンタル・リース経費、工事費、その他経費）に対し交付するものであり、上限額は120万円である。			
対象（交付先）	モノレールを呼ぼう！市民の会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	市民の会会員数（個人会員、サポート会員）	人
			実績	1,715	2,030	
			達成率	—	—	
2	市民の会会員数（団体会員、賛助団体）	団体	目標	—	—	—
			実績	54	58	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	1,500	949	1,200		令和2年第1回定例会において、市民の会との協働体制を充実させ、1日も早い延伸の実現をお願いしたいとの意見があった。
一般財源	337	0	1,200		
国都支出金	1,163	0	0		
その他	0	949	0		
人件費	80	77	77		他市等の状況 近隣市町では、瑞穂町に「モノレールを呼ぼう瑞穂の会」、あきる野市に「モノレールを呼ぼうあきる野の会」があるが、補助を実施する自治体はない。
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77		
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）					
合計（補助金+人件費）	1,580	1,026	1,277		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	3,523	2,930	3,123		交付金額（千円） 949
市補助金	1,500	949	1,200		事業経費 503
会費	449	411	500		印刷費 121
繰越金	1,574	1,516	1,372		役員費 185
事業収入	0	54	51		会議費 43
その他	0	0	0		広報費 87
総額（千円）	3,523	2,930	3,123		消耗品費 10
支出					割合（％）
交際費、飲食費	0	70	150		団体収入に占める補助金の割合 32%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合 52%
事業経費	1,328	503	1,500		交付金額に対する繰越金の割合 160%
その他	2,195	2,357	1,473		

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効果性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
透明性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●多摩都市モノレール延伸計画に関する都市計画素案説明会の周知活動（全会員への説明会案内の送付） ●テエダラまつりに出店し、活動PRを行った。（ハルーンアート・グッズ配布） 	令和3年度の決算において、翌年度への繰越金が増え、補助上限額の150万円を上回る状況であったことから、令和4年度の上限額を120万円と引き下げたが、令和4年度の交付額は94万9千円となっており今後も引下げを検討することとする。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

成果	今後の方向性		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上	○		
維持			
低下			

令和4年10月には多摩都市モノレール延伸計画に関する都市計画素案説明会が開催されるなど、東京都は、都市計画等の手続きに着手していることから、今後、早期延伸の実現に向けて、交付金の活用内容について、「まちづくりを市民に伝える役割」や、「市民が期待する武蔵村山市のまちづくりを検討するような活動」に充てることを検討していく。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		「モノレールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業	
所管部署		都市整備部 交通企画・モノレール推進課 交通企画・モノレール推進係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>「モノレールを呼ぼう！市民の会」は、多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に向けたPR活動等を通じて市民の機運を高める重要な役割を果たしてきた。</p> <p>現状における活動についても、モノレールの延伸が着実に前進している状況を踏まえ、これまで培ってきた知見や組織力をいかして将来世代を含めた全市民でまちづくりを考えていくものに転換しており、その存在意義は大きいことから、今後も補助を継続することが適当である。</p> <p>ただし、補助上限額を上回る繰越金が発生していることから、補助額の見直しについては検討することを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	多摩都市モノレール関連調査事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	—		
	目的	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に向けて、「モノレール沿線まちづくり構想」に掲げた施策について調査検討等を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	多摩都市モノレール延伸後を見据えたまちづくりの参考とするため、市民意向調査を行い、報告書を作成する。 また、意向調査の結果を踏まえ、過年度検討成果の修正等を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	※まちづくりの具体化に向けた調査になるため、指標の設定が困難	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		5,247	6,556	9,717
財源内訳	一般財源	0	6,556	9,717
	国都支出金	0	0	0
	その他	5,247	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,633	2,522	2,539
	所要人員(人)	0.33	0.33	0.33
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		7,880	9,078	12,256

市民・議会等から寄せられた意見

令和4年度第4回定例会において、市民の意見をたくさんいただき、みんなで未来を描いていく形でまちづくりを進め、一日も早い開業に向けて取り組んでいくよう要望があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>多摩都市モノレール延伸後を見据えたまちづくりの参考とするため、市民意向調査を行った。また、意向調査の結果を踏まえ、過年度検討成果の修正等を行った。</p> <p>●調査期間 令和4年11月12日～令和5年1月10日</p> <p>●回答数 郵送 636人 ホームページ 100人 イベント等 449人(テエダラまつり等) 合計 1,185人</p>	<p>東京都及び関係市町と連携しながら、多摩都市モノレール利用者の創出につながる沿線のまちづくりに取り組む必要があり、関係機関との調整が重要となる。</p> <p>また、令和4年10月に多摩都市モノレール延伸計画が公表されたため、今後は市民、事業者の意見を取り入れながらまちづくりの検討を進める必要がある。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>令和4年10月に多摩都市モノレール延伸計画が公表されたことを受け、今後は、まちの将来像を市民及び事業者の意見を聴きながら定めて共有し、協働でまちづくりを進めていく必要がある。</p> <p>また、モノレールのもたらす利便性や賑わいを最大限にいかすまちづくりを進め、持続可能なまちの形成に向けて、計画的に取り組んでいく必要がある。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道沿道交通施設等調査検討事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 1 モノレール推進		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	沿線まちづくり 係 内線 279
	根拠法令等	都市計画法		
目的	多摩都市モノレール延伸に係る検討業務の進行に伴い、今後モノレール新駅に必要とされる各種交通施設について調査検討する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	多摩都市モノレール新駅の駅前広場の整備について検討し、関係機関との協議を行う。また、都市計画の変更図書を作成し、変更に係る手続を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	業務の円滑な推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		6,985	5,104	0
財源内訳	一般財源	6,985	5,104	-
	国都支出金	0	0	-
	その他	0	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,037	2,293	770
	所要人員(人)	0.13	0.30	0.10
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		8,022	7,397	770

市民・議会等から寄せられた意見	
令和4年第4回定例会において、駐輪場等の整備について時宜を逸することがないように、計画的に整備を進めていくよう要望があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
モノレール新駅に係る駅前広場と駐輪場について、調査検討を行うとともに、関係機関協議を行った。 また、駅前広場の整備に係る都市計画変更図書を作成し、令和4年10月18日から同年10月25日までにかけて素案説明会を行った。	多摩都市モノレールの延伸事業の進捗に合わせて、適切な時機に事業を進めていく必要がある。

今後の方針	
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
本事業は、今後モノレール新駅に必要とされる各種交通施設について、駅勢の圏拡大による来訪者の利便性、快適性の向上を図るため、モノレール新駅に係る駅前広場や駐輪場の整備について調査検討するものである。 今後も、モノレール延伸事業等の進捗に合わせて、適切な時機に駅前広場の整備に係る都市計画の変更及び駅前広場の基本設計・詳細設計を行っていく。	
成果	今後の方針 コスト
	削減 維持 増加
	向上 維持 低下
	○

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市内循環バス運行経費補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市内循環バス運行経費補助金交付要綱		
	目的	市内循環バス「MMシャトル」の運行を確保し、もって 武蔵村山市民の日常生活の利便の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	本市と市内循環バス「MMシャトル」の運行に関し協定を締結した事業者について、市内循環バスの運行に要する経費（人件費、燃料油脂費、車両修繕費等）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	立川バス株式会社			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	市内循環バス1便当たりの年平均輸送人員	人
			実績	3.97	5.35	
			達成率	65%	88%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	110,000	96,320	103,547		令和4年4月から武蔵砂川ルート及び西ルートを廃止しているが、対象地域の市民からは不便になったとの声がある。
一般財源	74,000	63,999	67,547		
国都支出金	36,000	32,321	36,000		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 立川バス株式会社がコミュニティバスを運行している他の自治体（立川市、昭島、国分寺市、国立市、瑞穂町）においても同様の補助がある。
	320	306	308		
	所要人員（人）				
	0.04	0.04	0.04		
	会計年度任用職員（千円）				
	0	0	0		
	所要人員（人）				
	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	110,320	96,626	103,855		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	141,438	131,043	134,457		交付金額（千円） 96,320
市補助金	110,000	96,320	103,547		事業経費 22,859
会費	0	0	0		人件費 73,461
繰越金	0	0	0		
事業収入	31,438	34,723	30,910		
その他	0	0	0		
支出	総額（千円）	177,008	131,043	139,161	
	交際費、飲食費	0	0	0	
	人件費	132,835	98,217	98,568	
	事業経費	28,944	22,859	28,025	
	その他	15,229	9,967	12,568	
割合（％）					
団体収入に占める補助金の割合					74%
団体収入に占める繰越金の割合					0%
交付金額に対する繰越金の割合					0%

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
市内循環バス「MMシャトル」の利用者数について、評価指標の目標値には至らなかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による減少からの回復傾向は見られた。 また、令和4年4月のルート再編に伴い、運行車両の売却益による収入額の増加に加え、人件費等の支出が減少したこと等により市補助金額は減少した。	適正な補助額となるよう、市内循環バス「MMシャトル」の利用促進を図るなどの必要がある。

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上		○	
維持			
低下			

低迷する利用者数の改善を図るため、運行計画の見直しを実施し、令和4年4月1日から武蔵砂川及び西ルート廃止、上北台及び玉川上水ルートの2ルートで運行を行っている。今後については、モノレール延伸に伴うバス路線再編に関する基本方針の策定を経て、地域公共交通計画を策定し、より効率的なルートに再編していく。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	市内循環バス車両購入経費補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市内循環バス車両購入経費補助金交付要綱		
	目的	市内循環バスの運行を確保し、もって武蔵村山市民の日常生活の利便の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市内循環バスの運行に関し協定を締結した事業者が購入した車両に係る経費を補助する。			
対象（交付先）	立川バス株式会社			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助対象となる車両台数	台
			実績	6	4	
			達成率	100%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	24,830	15,504	10,102		令和3年3月の予算特別委員会において、市民の声を吸い上げた形で、市内循環バスの運行をよりよいものに向けていってほしいとの意見があった。
一般財源	16,830	15,504	10,102		
国都支出金	8,000	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 立川バス株式会社がコミュニティバスを運行している他の自治体において、本市と同様に車両に対する単独の補助事業を実施するところはない。（運行経費補助金に含む）
所要人員（人）	0.04	0.04	0.04		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	25,150	15,810	10,410		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	24,830	15,504	10,102		交付金額（千円） 15,504
市補助金	24,830	15,504	10,102		車両償却費 15,504
会費	0	0	0		
繰越金	0	0	0		
事業収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
支出	総額（千円）				割合（％）
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 100%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合 0%
事業経費	24,830	15,504	10,102		交付金額に対する繰越金の割合 0%
その他	0	0	0		

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は、新規の車両購入はなく、平成30年度購入の2台、令和元年度購入の1台、令和2年度購入の1台、計4台の車両償却費について補助を行った。	現在の車両は走行距離約80万キロを買替えの目安としている。そのため、年度末時点で各車両の走行距離を確認して新規車両の購入時期を想定し、予算計上を行う必要がある。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

新規車両購入の予定は無く、令和5年度には、平成30年度に購入した車両の償却が完了することから、令和6年度は、令和元年度購入の1台、令和2年度購入の1台、計2台の車両償却費について補助を行う予定である。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	乗合タクシー運行事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第3節 地域交通 2 地域交通		
	所管部署	都市整備 部	交通企画・モノレール推進 課	交通企画・モノレール推進 係 内線 273
	根拠法令等	武蔵村山市乗合タクシー運行事業実施要綱 武蔵村山市乗合タクシーの同乗者利用の試行に関する要領		
	目的	市内循環バス「MMシャトル」の利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、廃止沿線地域（市南西地域）を対象とした乗合型の交通システムを導入する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	利用対象者の自宅と指定した乗降場所（市内公共施設等）を結ぶ公共交通として、デマンド型の乗合タクシー「むらタク」を運行する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	利用者数	人
			実績	3,774	11,156	
			達成率	84%	124%	
2	利用登録率 ※令和4年度から利用登録対象地域が拡大し、対象人口が増加しているため、目標値が減少している。	%	目標	10.0	6.0	9.1
			実績	9.19	7.89	
			達成率	92%	132%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		7,791	18,067	17,836
財源内訳	一般財源	7,141	15,941	15,835
	国都支出金	0	193	0
	その他	650	1,933	2,001
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,829	2,599	2,616
	所要人員（人）	0.48	0.34	0.34
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		11,620	20,666	20,452

市民・議会等から寄せられた意見

平成30年3月の予算特別委員会において、確実に登録者数、利用者数が増えていると感じるので、要望、課題、市民に応えるむらタクにしていきたいとの意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
登録者数や利用者数の拡大のため、制度の周知を行った（市報等による広報、出張説明会及び利用者登録受付の実施）。 利用登録エリアの拡大に伴い利用者数は大幅に増加しており、利用登録率は、目標値を達成することができた。	登録者数や利用者数の拡大のため、制度のより一層の周知が課題となる。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

令和4年度は、市内循環バス「MMシャトル」の武蔵砂川及び西ルートの廃止に伴い、運行を廃止した地域（岸一丁目、中原、残堀及び三ツ藤）を対象として乗合タクシーの利用登録可能エリアを拡大するとともに、乗降場所を3か所（ダイエー武蔵村山店、ジョイフル本田瑞穂店及び武蔵砂川駅）増設した。
今後も引き続き、地区会館や集会所での出張説明会及び利用者登録受付を実施し、登録者数や利用者数の拡大を図る。

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）